

令和2年12月25日開催 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議「生物多様性部会専門部会」における質疑概要

本編目次	頁	委員等の主な意見・質問	JR東海の回答
1 (3)	3	<ul style="list-style-type: none"> 「特異な状況が考えられる場合には、専門家等に相談し、代償措置を行う」「事前の代償措置を考える」と明記されたことは大変進展したと思うが、間に合わない場合は、事前では意味がなく事後を含めて代償措置を検討しないとつじつまが合わない。 環境影響評価の時のJR東海の対応が問題点を指摘しても他に広いところがあって問題ないということで終始していたが、大分不確実性があるということで自然に対する考え方が少し変わってきたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 誤解のないように正確に記載する。
2		<ul style="list-style-type: none"> なし 	
3 (1)	8	<ul style="list-style-type: none"> 資料には、「水量が少なくなる沢においては流量の減少や枯渇が生じ、動植物の生息・生育環境が著しく変化したり、消失したりする可能性があります。」とある。動植物の環境影響評価書では「影響の程度は小さく、重要な魚類の生息環境は保全されると予測される」とあるが、評価書の内容が誤りであったことを認めるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価書では、全体を大きな単位で見、それに対して実際に影響の程度が大きい小さいかということの評価の上で書いた。具体的に一つ一つの沢で見ると影響が大きいところもあり、影響が出そうなところは具体的に見て対策を立ててやっていかないといけない。
3 (2)	10	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の元のデータを相当変動するものとしてしっかり把握し、モニタリングの変動とそれらとを比較するという形でしか影響が把握できないと考えていただきたい。 自然環境についての保全には「回避」、「低減」、「代償措置」があるが、生態系に関してはこのほかに「修復」がある。生態系が傷んだらどう回復させるかを考えていただかないといけないがほとんどそのことを考えていない。 ヤマトイワナの移植については、遺伝子の多様性を損なうという観点から、あまり考えないほうがいい。別の保全対策も考えていただきたい。 動物については、「代償措置を検討・実施」と書かれているだけで非常にあいまいであるが、具体的な措置を考えているか。「事前の代償」もあいまいである。 「地上部分の改変を行う箇所において、環境保全措置を実施する」と記載しているが、トンネル部分を実施するとは書いていない。これがJR東海の静岡工区における基本的な対応というように読める。地上部分の改変を伴う箇所についてしか環境保全措置をしないと書いているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に魚類に対して影響がある可能性があると考えている。養殖して戻すだけでは現状の環境に影響があるという声もあるので、今まさに専門家やいろいろなところにお聞きしながら、南アルプス全体で検討している段階である。 環境保全措置をあるところではやると書いたり書いていなかったりするので改めたい。
	11	<ul style="list-style-type: none"> 今回の工事は生物多様性を守るチャレンジになる。JR東海の調査ではこれまで見落としてきている生物を調査する機会を持ちたいという研究者がいれば協力をお願いしたい。 重要種だけでなく普通種も含めた全体のモニタリングを途中経過でもいいので教えてもらい、問題がないか審査する場所が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> そのような研究者、機関からも情報をいただいて適切な保全に努めたい。 72 ページに記載している「環境管理の体制」のことであり、この中身をどうしていくかは保全連絡会議、県も含めて話をしながら決めていきたい。
3 (4)	15	<ul style="list-style-type: none"> もし問題が起きて流量が減少したという場合は、基本的には工事を止めてそれが直るまできちんと見るということか。現状に戻るまでどういう対応をされるのか。 自然環境保全協定をきちんと県と結び、急ぐような結果についてはできるだけ速やかに報告する、専門家がが必要な場合には対応するという図式で考えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況によると考える。状況を県にまず報告し、委員の皆様にも逐次報告して今後の進め方について意見を申し上げ、それに対して意見をいただくということだと考えている。